

事業計画書

1：補助事業の具体的取組内容

事業テーマ：●●●● (30文字程度) ※①

今回の事業テーマをざっくりと説明~~~~~ (100文字程度) ※①

(1) 事業再構築要件について

ア 事業類型 **今回は一般枠を○しました**

一般枠	卒業枠	グローバルV字回復枠	緊急事態宣言特別枠
○	—	—	—

イ 事業再構築の類型 **今回は新分野展開の説明でしたので新分野展開へ○しました**

新分野展開	事業転換	業種転換	業態転換	事業再編
○	—	—	—	—

ウ 業種と事業 **「日本標準産業分類」で確認。今回は現状と事業実施後が同じになる予定**

	大分類	中分類	小分類	細分類
現 状				
事業実施後				

エ 事業再構築指針に定める該当要件

製品等の新規性要件	過去に製造等した実績がないこと	<p style="text-align: center;">「製造等した実績がないことを説明」</p> <ul style="list-style-type: none"> ●新規事業と既存事業の違いを記載するとわかりやすい。
	製造等に用いる主要な設備を変更すること	<p style="text-align: center;">「変更する設備の説明」</p> <ul style="list-style-type: none"> ●上記と同様に現状設備と新規事業で導入する設備を説明。読んだ相手がわかりやすいと思える表現が良い。
	定量的には性能又は効能が異なること	<p style="text-align: center;">「新製品と既存製品の違い」</p> <ul style="list-style-type: none"> ●新しい製品が既存製品と比較できれば記載。 ●比較できない場合は比較対象でないことを説明。
市場の新規性要件	既存製品等と新製品等の代替性が低いこと	<p style="text-align: center;">「新規事業と既存事業が被らない内容にしよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ●新規事業を実施することで既存事業の売上が減って会社全体の売上が大きく減らないことへ注意。 ●新規事業と既存事業で相乗効果が生まれる内容にしよう。 ●新規事業の顧客が実は既存顧客ばかりだったってことにならないような事業内容にしよう。
売上高 10%要件	3~5年間の事業計画期間終了後、新たな製品等の売上高が総売上高の10%以上となる計画を策定すること	<p style="text-align: center;">「新規事業の売上が総売上の何%？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ●収益計画で記載している金額を記載して何%を計画しているか説明と併せて記載しよう。